

Mimaki



JV33Series



JF-1631



Textile Jet
Tx3-1600

第33期(2008年3月期)決算説明会

2008年5月22日(木)

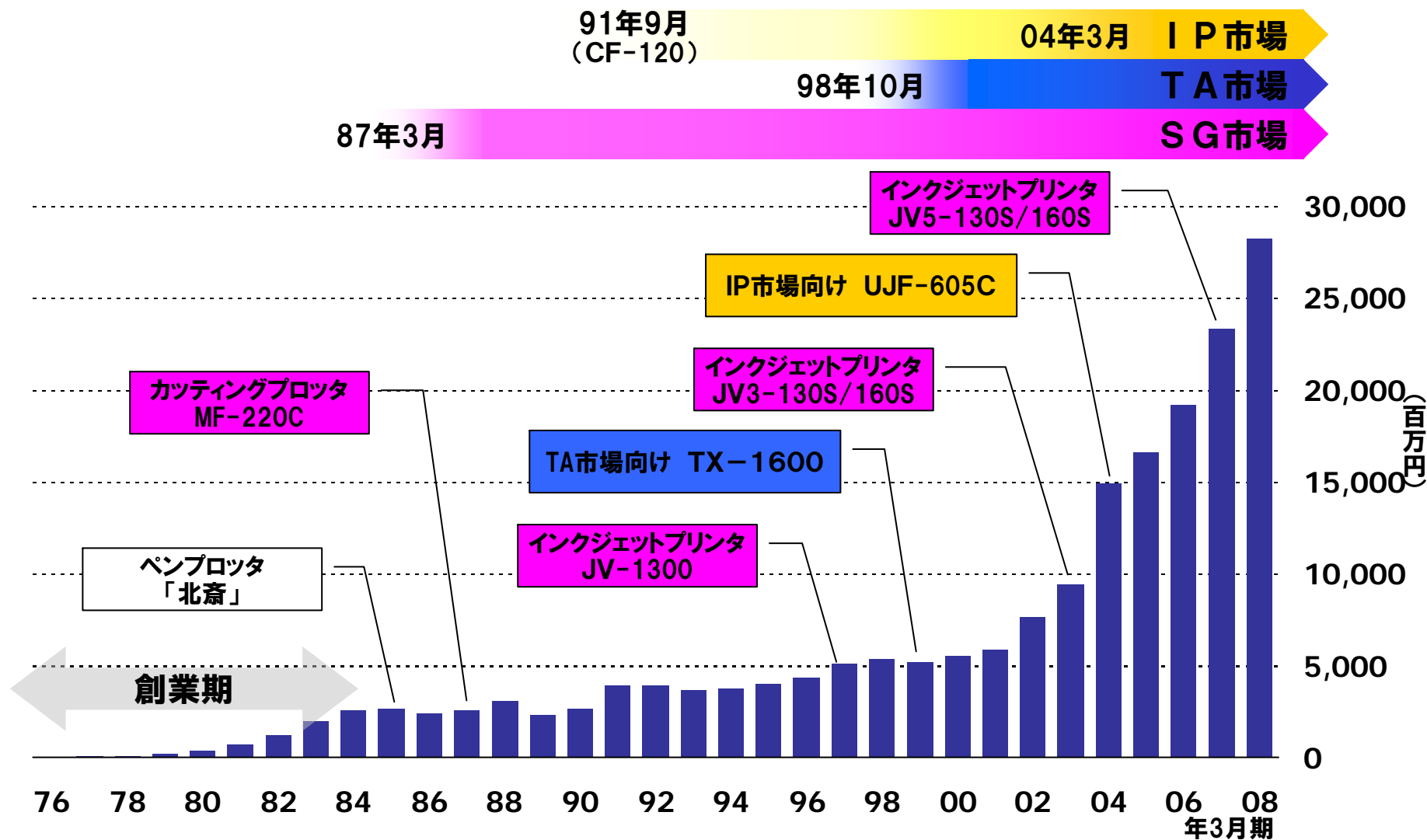
株式会社ミマキエンジニアリング

JASDAQ

証券コード:6638

第33期 連結業績
(2008年3月期)

1. 売上高の推移



(注) 05年3月期以降は連結、04年以前は単体。
 76~88年は7月期。89年3月期は決算期変更のため8カ月決算。

2. 損益の状況

(単位:百万円、%)

	32期(2007/3)		33期(2008/3)		
	金額	百分比	金額	百分比	増減率
売上高	23,337	100.0	28,235	100.0	21.0
売上総利益	9,935	42.6	13,048	46.2	31.3
販管費	8,776	37.6	11,089	39.3	26.3
営業利益	1,158	5.0	1,959	6.9	69.1
営業外収益	289	1.2	86	0.3	△70.1
営業外費用	143	0.6	335	1.1	134.4
経常利益	1,305	5.6	1,710	6.1	31.0
当期純利益	771	3.3	984	3.5	27.7
為替 レート	米ドル	117.03円	114.28円		
	ユーロ	150.09円	161.52円		

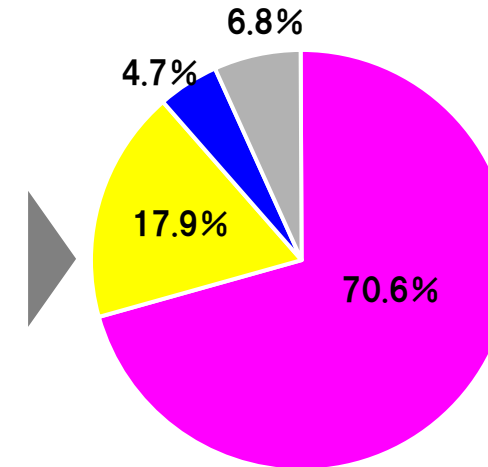
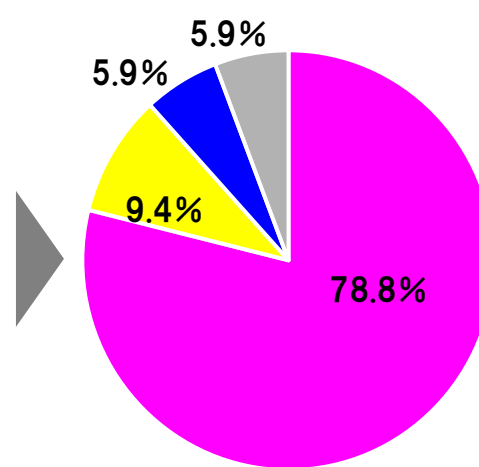
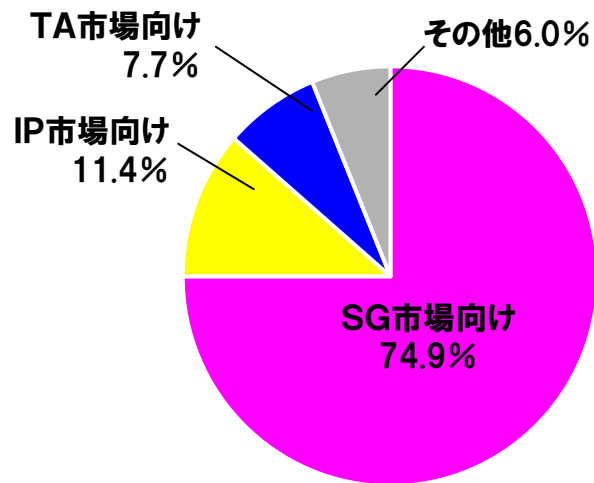
3. 経常利益の主な増減要因

主な増減要因	増減額 (百万円)	コメント
売上増加による 売上総利益増加	+2,084	製品本体+2,279百万円、インク+1,937百万円 ※為替による売上押し上げ効果を含む。 (期中平均レート: \$ 2.75円高、€11.43円安)
原価率改善による 売上総利益増加	+1,027	原価率約3.6ポイント改善(為替の影響も含む)
給与手当増加	△418	就業人員前年同期比+97名
支払手数料増加	△398	インク売上増による
製品補修費増加	△244	製品本体売上増及び新製品発売による
その他販管費増加	△1,250	主に売上増に伴う変動費増加による
為替差損計上	△401	為替差益236百万円⇒為替差損165百万円 (期末での円高: \$ =100.20円、€=157.35円)
営業外収益増加	+33	受取利息+26百万円等
営業外費用増加	▲27	
経常利益	+404	

4. 機種群別売上高

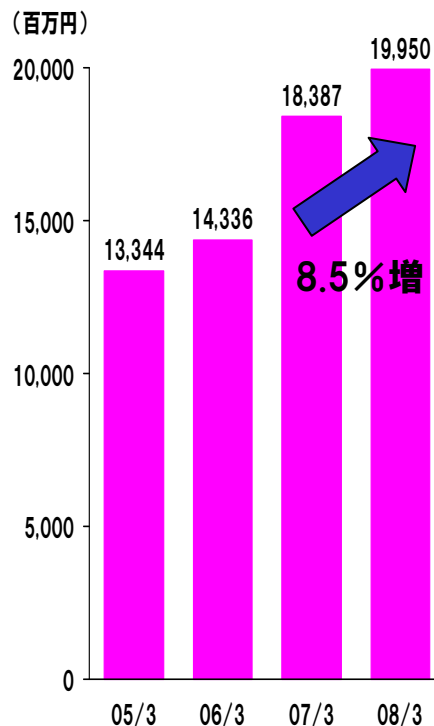
(単位:百万円、%)

	32期(2007/3)		33期(2008/3)		
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
SG市場向け	18,387	78.8	19,950	70.6	8.5
IP市場向け	2,180	9.4	5,041	17.9	131.2
TA市場向け	1,385	5.9	1,327	4.7	△4.2
その他	1,384	5.9	1,915	6.8	38.4
合計	23,337	100.0	28,235	100.0	21.0

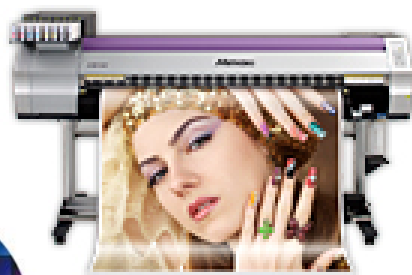


4-1. SG市場向け

売上高の推移



- 売上高: 199億50百万円
- 前年同期比: 8.5%増



- JV5-320S (07年8月)
国内最大級の3.2m幅を超高速・高画質でプリントするグランドフォーマットソルベントインクジェットプリンタ
- JV33-130/160 (07年8月)
JV3シリーズの後継機種、低価格帯のワイドフォーマットインクジェットプリンタ、JV5シリーズの高速機とラインナップ
- CG-FXII-75/130/160 (08年3月)
印刷物の輪郭カットや高精度な長尺カットを実現するカッティングプロッタ、連続トンボ読み取り機能によりプリント&カットが可能

4-1. SG市場向け製品活用例

壁面看板



電飾看板



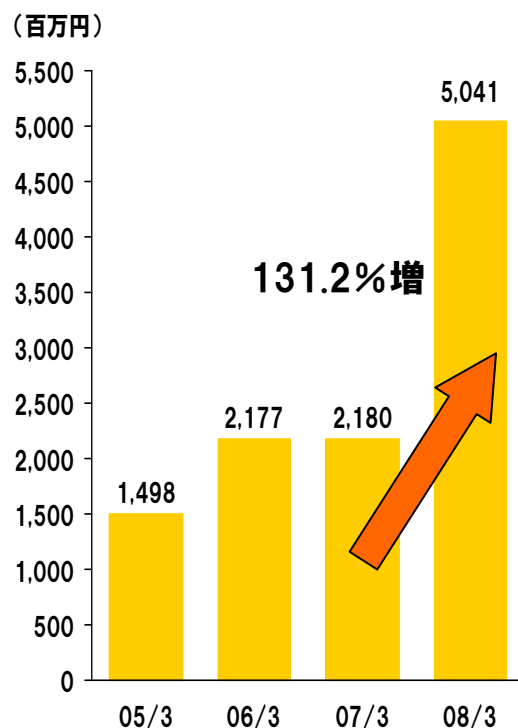
屋外看板



バスラッピング

4-2. IP市場向け

売上高の推移



- 売上高: 50億41百万円
- 前年同期比: 131.2%増



- JF-1610/1631 (06年12月)
大型フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ、さまざまな大型フラット素材にプリントできる。年間売り上げに大きく貢献



- CF3-1610/1631 (07年11月)
ルーターヘッドを搭載し、最大1.6 x 3.1mまでの大判で硬い素材をカット



- IPF-1610B (07年12月)
プリント素材を自動的にプリンタに供給し、プリント後に自動回収する自動搬送装置付

4-2. IP市場向け製品活用例

立看板へのプリント&カット



携帯電話へのプリント



ボタンへのプリント



計装パネル



半球へのプリント



銘板へのプリント

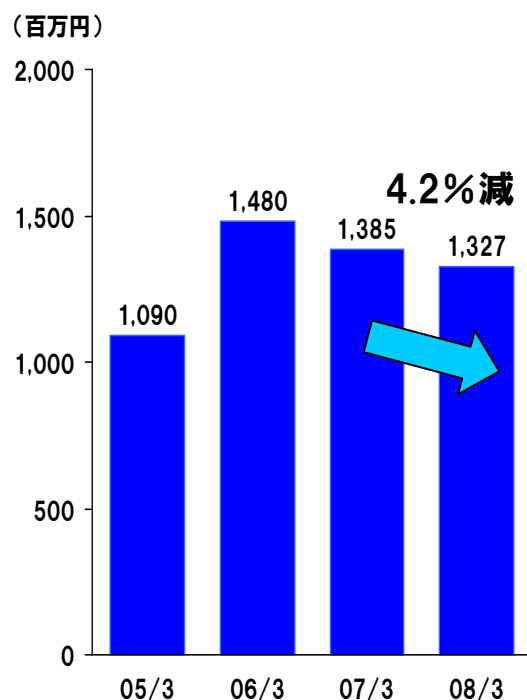


軟包素材へのプリント



4-3. TA市場向け

売上高の推移



- 売上高: 13億27百万円
- 前年同期比: 4.2%減

- 伝統的な染物業からデジタルプリントへの緩やかな流れ
- Tシャツへのデジタルプリントの普及
- 30m²/時間の高速プリントに対応できる乾燥性の高い昇華転写インク
 - ーにじみを無くし、大量生産にお応えできるインク
 - ー洗濯堅牢度・摩擦堅牢度において、日本紡績検査協会の品質基準の4級以上をクリア
 - ー濃度も向上させ、より鮮やかな発色が得られる

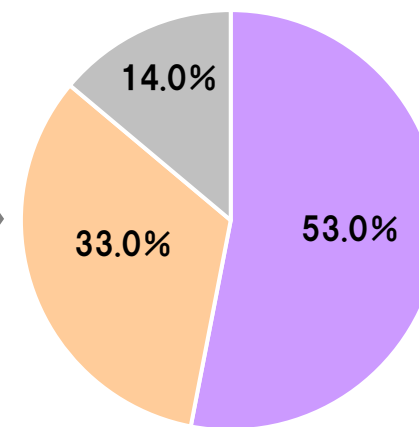
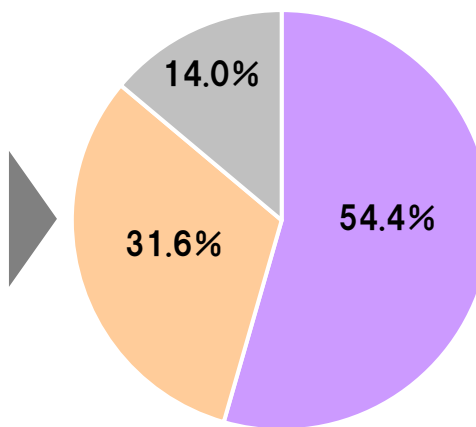
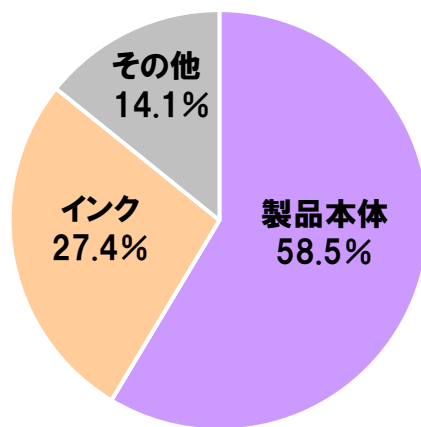
4-3. TA市場向け製品活用例



5. 製品別売上高

(単位:百万円、%)

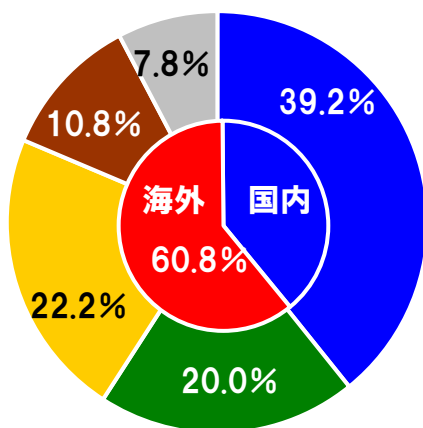
	32期(2007/3)		33期(2008/3)		
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
■ 製品本体	12,690	54.4	14,970	53.0	18.0
■ インク	7,371	31.6	9,309	33.0	26.3
■ その他	3,275	14.0	3,955	14.0	20.8
合計	23,337	100.0	28,235	100.0	21.0



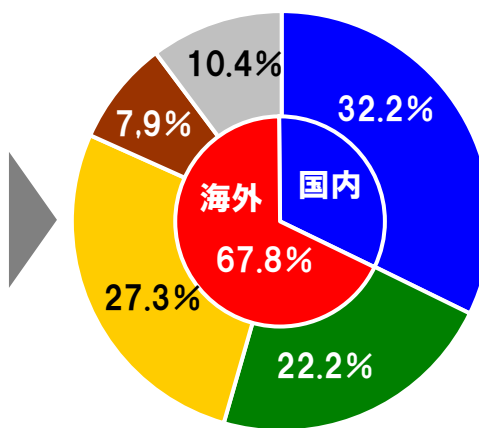
6. エリア別売上高

(単位:百万円、%)

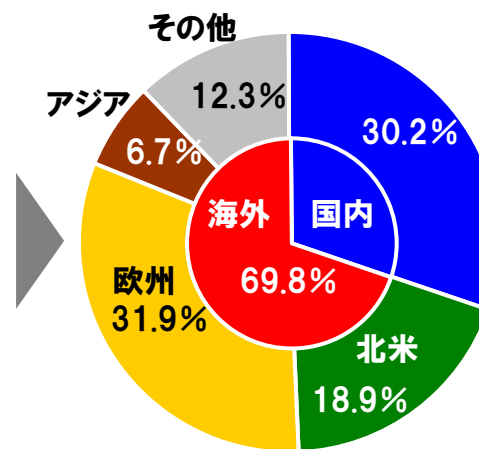
		32期(2007/3)		33期(2008/3)		
		売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
■ 国	内	7,506	32.2	8,531	30.2	13.7
■ 北	米	5,170	22.2	5,337	18.9	3.2
■ 欧	州	6,364	27.3	8,999	31.9	41.4
■ ア	ジ ア	1,854	7.9	1,888	6.7	1.8
■ そ	の 他	2,440	10.4	3,478	12.3	42.5
合 計		23,337	100.0	28,235	100.0	21.0



06/3期:191億円



07/3期:233億円



08/3期:282億円

7-1. 要約貸借対照表

〔資産の部〕

(単位:百万円)

	2007/3	2008/3	増減額
現金及び預金	4,955	3,432	△1,523
受取手形・売掛金	4,020	4,368	347
たな卸資産	5,588	7,647	2,059
その他	1,311	1,463	152
流動資産合計	15,876	16,912	1,035
有形固定資産	4,882	5,744	862
無形固定資産	299	331	32
投資その他の資産	712	862	150
固定資産合計	5,894	6,939	1,045
資産合計	21,770	23,851	2,080

・前期末が金融機関休業日であったため

・売上拡大による増加

・加沢工場の改修等により建設仮勘定が増加

7-2. 要約貸借対照表

〔負債・純資産の部〕

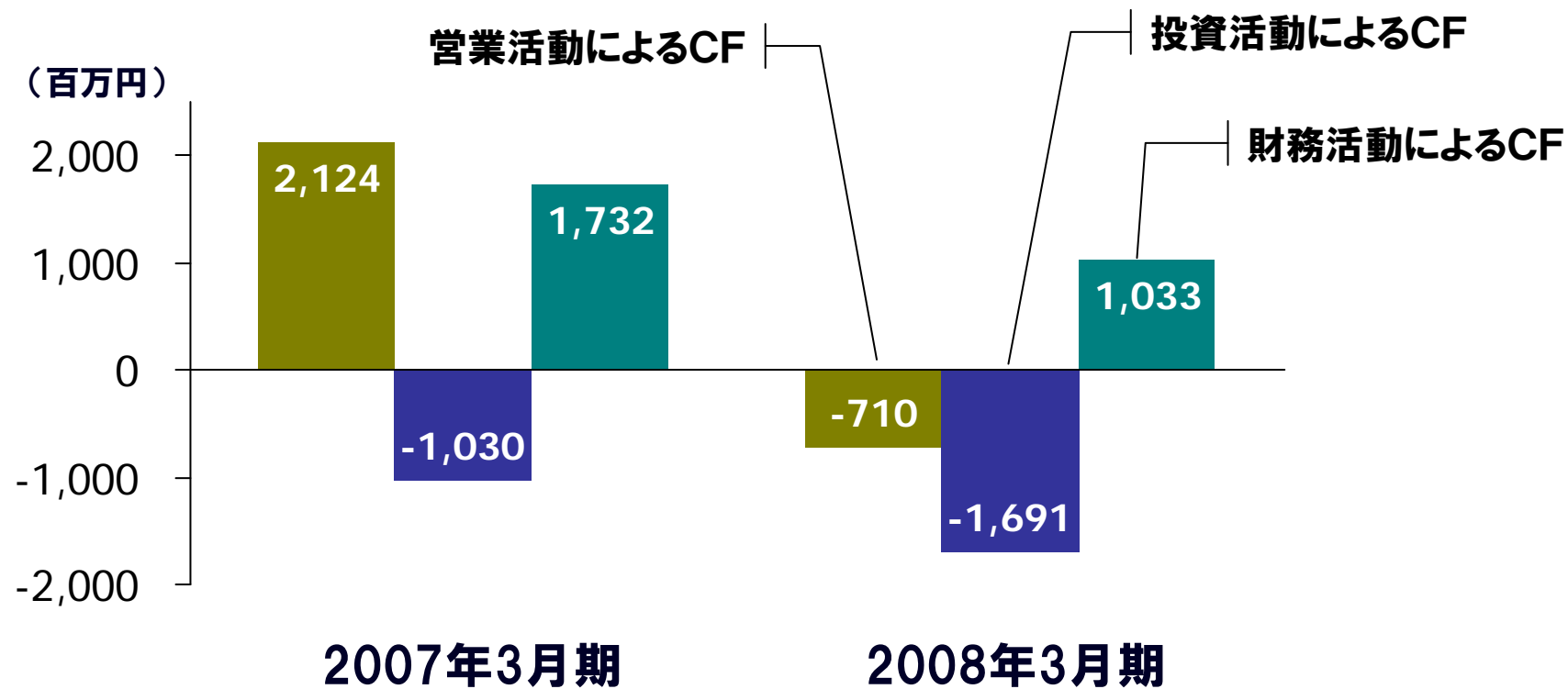
(単位:百万円)

	2007/3	2008/3	増減額
支払手形・買掛金	6,319	6,191	△127
短期借入金・1年内予定長期 借入金・1年内予定社債	5,459	5,585	125
そ の 他	2,684	2,797	112
流動負債合計	14,463	14,574	110
長期借入金	1,131	575	△555
そ の 他	331	398	66
固定負債合計	1,462	973	△488
負債合計	15,926	15,548	△377
純資産合計	5,844	8,303	2,458
負債、純資産合計	21,770	23,851	2,080

・長期借入金減少
555百万円

・公募増資及び第三者
割当増資による

8. キャッシュフローと設備投資額



設備投資額

1,029百万円

1,765百万円

減価償却費

807百万円

987百万円

研究開発費

1,184百万円

1,192百万円

9-1. 設備投資 中国子会社設立

- 4月 取締役会にて申請決議
- 12月 会社設立。上海市から約100Km南西にある浙江省平湖市に設立



9-2. 設備投資 加沢工場増設開始(9月)

- 08年6月完成予定⇒生産能力増強



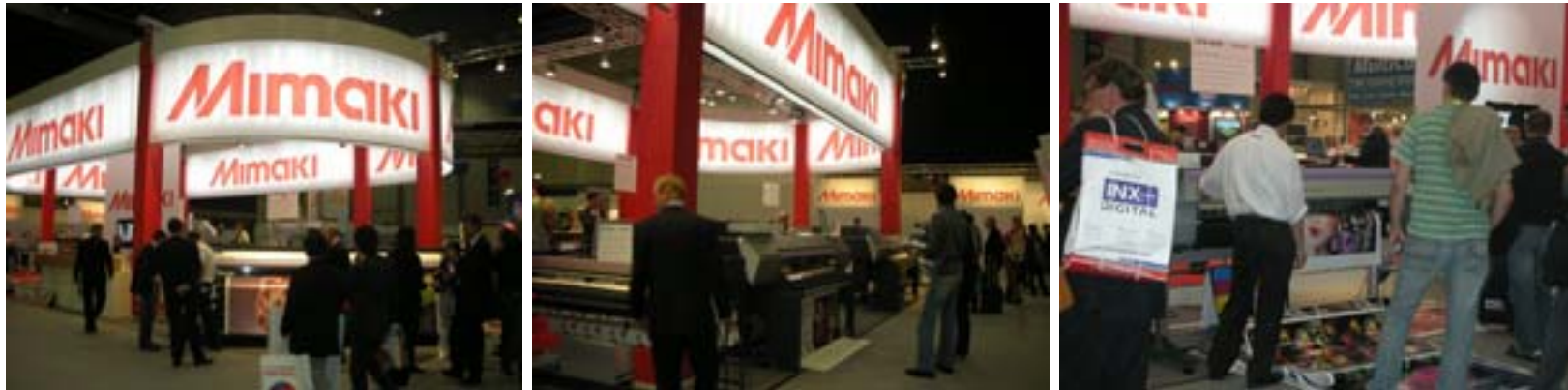
①



②

33期(2008年3月期) 展示会

- FESPA (6月/独、ベルリン)



- Sign&Display (8月/東京)



33期(2008年3月期) 展示会

- IGAS (9月/東京)



- SGIA (10月/USA、オランダ)



地域交流 ミマキまつり(11月)

- 地域の皆様への感謝の気持ちを伝えるミマキまつりを開催。



**第34期 連結業績予想
(2009年3月期)**

10. 今期の予想

(単位:百万円、%)

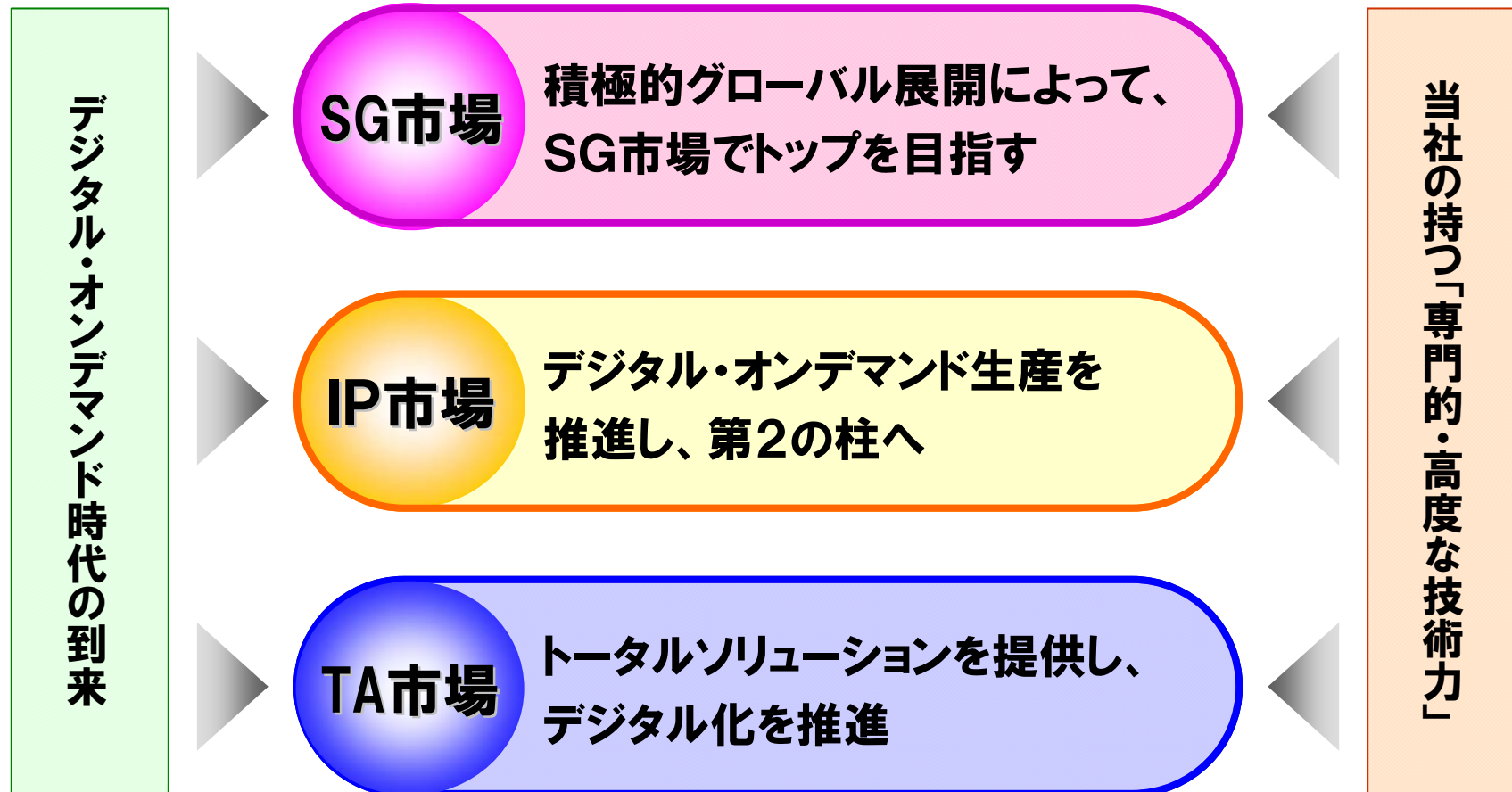
	33期(2008/3)		34期(2009/3)予想		
	金額	百分比	金額	百分比	増減率
売上高	28,235	100.0	32,386	100.0	14.7
売上総利益	13,048	46.2	14,522	44.8	11.3
営業利益	1,959	6.9	2,300	7.1	17.4
経常利益	1,710	6.1	2,167	6.7	26.7
当期純利益	984	3.5	1,265	3.9	28.5
設備投資額	1,765	6.3	1,801	5.6	2.0
研究開発費	1,192	4.2	1,342	4.1	12.5
為替 レート	米ドル	114.28円	105.00円		
	ユーロ	161.52円	152.00円		

11. 機種群別売上高の予想

(単位:百万円、%)

	33期(2008/3)		34期(2009/3)予想		
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
SG市場向け	19,950	70.6	21,754	67.2	9.0
IP市場向け	5,041	17.9	7,013	21.7	39.1
TA市場向け	1,327	4.7	1,453	4.5	9.5
その他	1,915	6.8	2,165	6.7	13.0
合計	28,235	100.0	32,386	100.0	14.7

12. 経営戦略



13-1. 事業戦略－SG市場向け

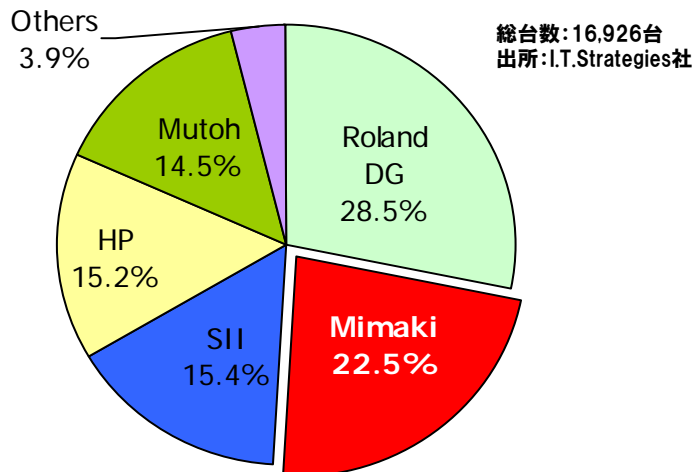
商品戦略

- ✓ 環境にやさしいUVインク採用のロールプリンタ商品化
- ✓ 省エネLED UVランプ採用のプリンタ商品化
- ✓ 新興国市場向け商品の対応
- ✓ エントリーモデルシリーズのラインナップ

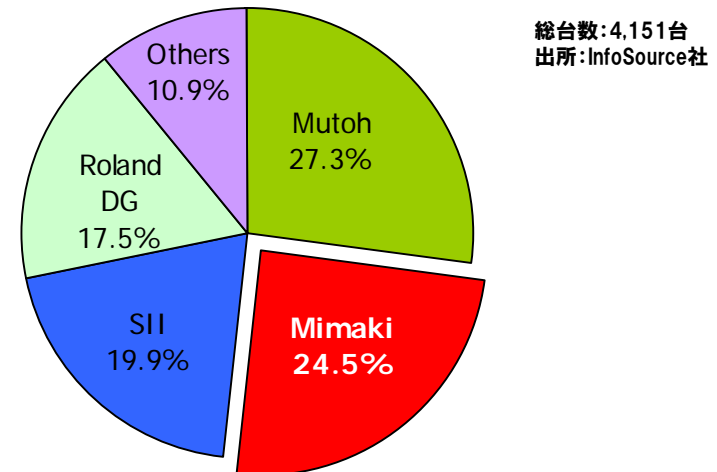
販売戦略

- ✓ フレキシブルUVインク採用プリンタによるサイン市場での用途開発を推進
- ✓ エントリーモデルシステムの提案と新興国市場開拓

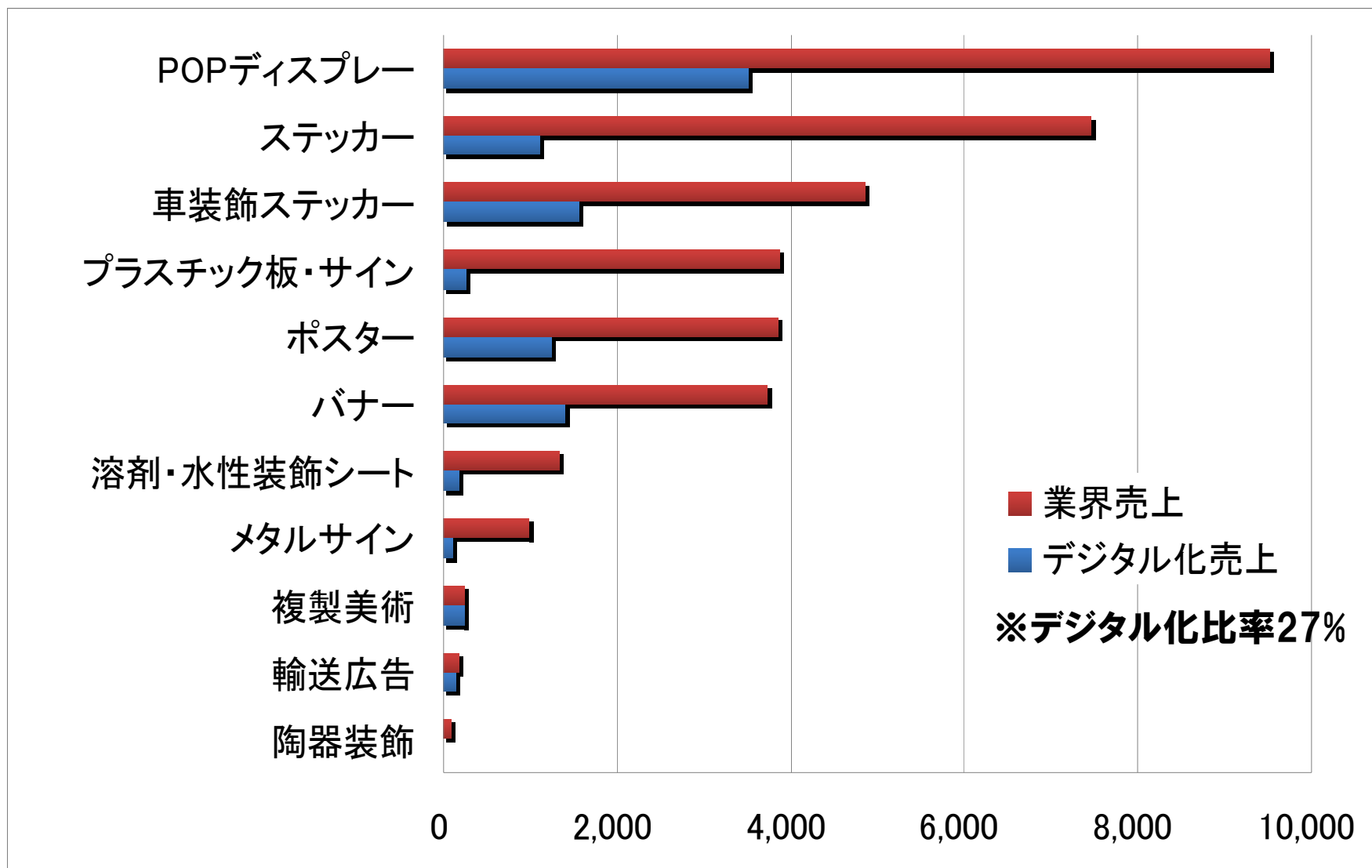
米国ソルベントインクジェットプリンタ
2006年設置台数シェア



EU市場ソルベントインクジェットプリンタ
2007年販売台数シェア(60インチ以上)



13-2. USA SGデジタル進行度



ITストラテジー社2007年10月調査データによる

単位: M\$

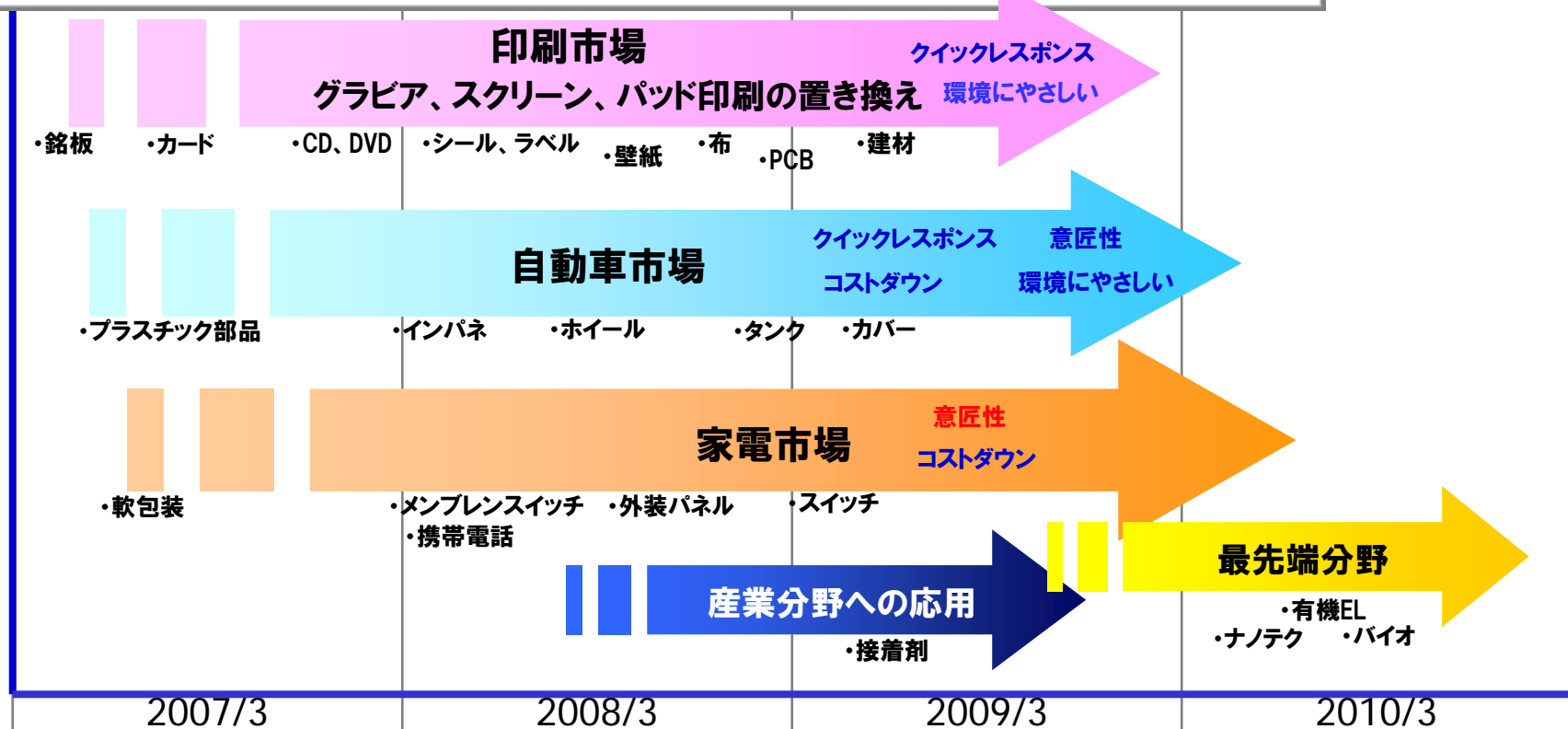
14-1. 事業戦略－IP市場向け

商品戦略

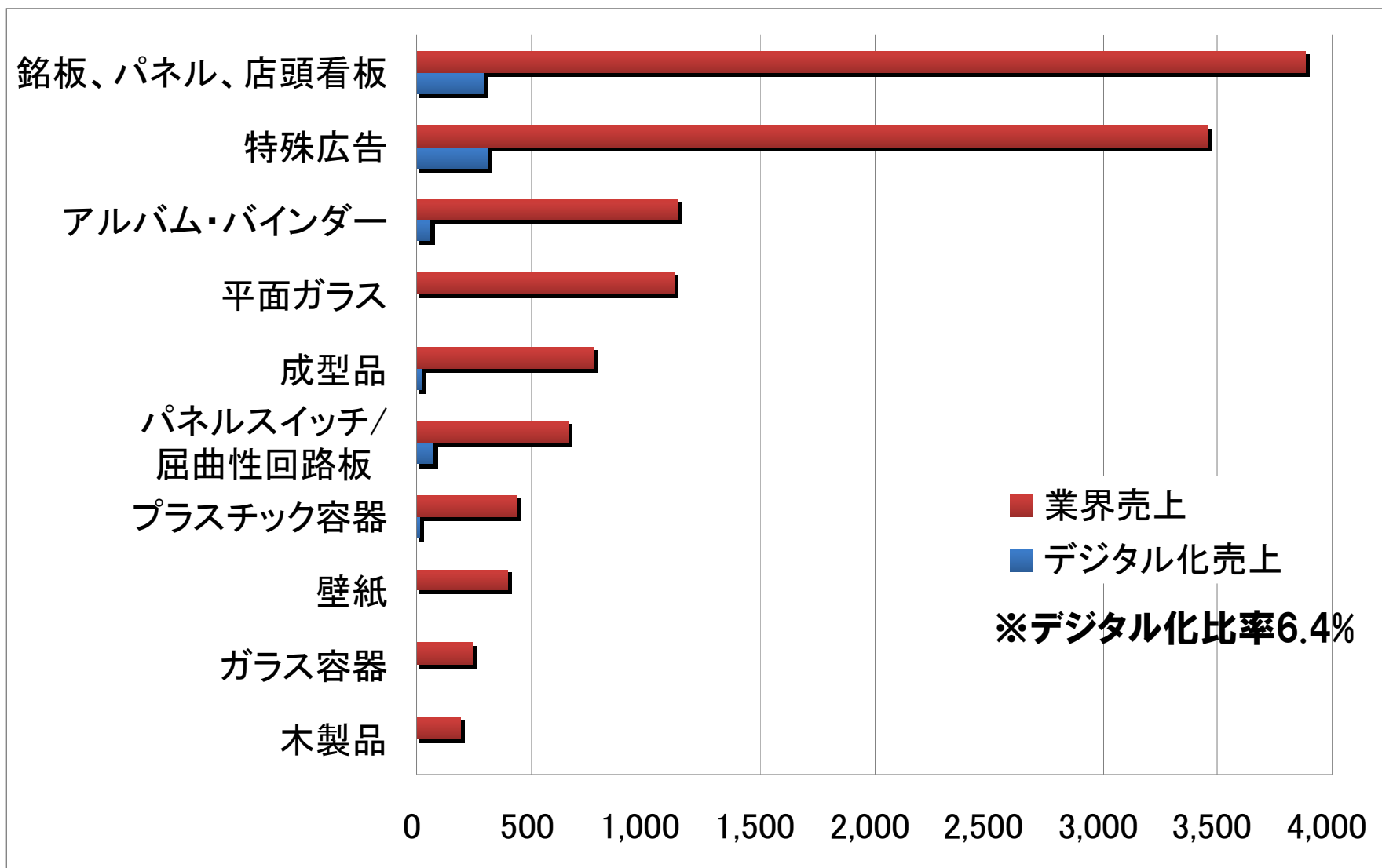
- ✓ 3次元ソリッドプリンタ、UVシールプリンタ、大型フラットプリンタ等IP市場のニーズに応えるプリンタの開発
- ✓ エコ・グリーンを広めるUVインク商品の拡充

販売戦略

- ✓ 認定デモサイト設置と使ってみる化の継続推進
- ✓ スクリーン/パッド印刷市場へのデジタル化推進



14-2. USA IPデジタル進行度



ITストラテジー社2007年10月調査データによる

単位: M\$

15-1. 事業戦略－TA市場向け

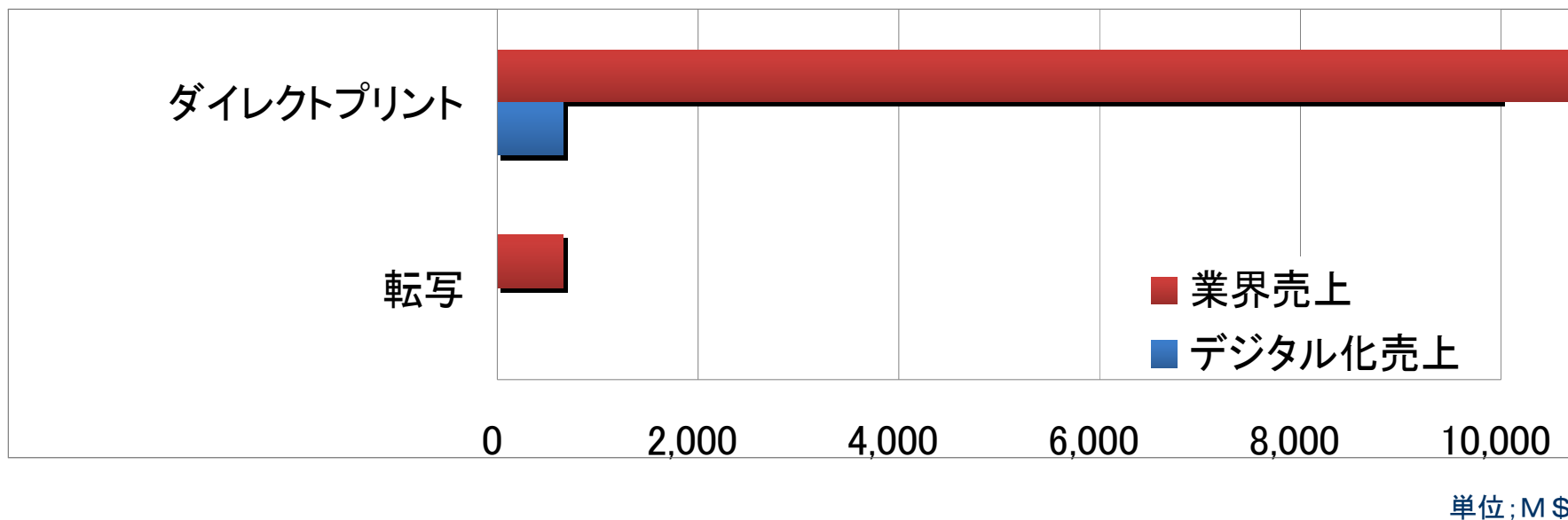
商品戦略

- ✓ 既存生産地への高速プリンタの開発
- ✓ 低価格捺染インク・高発色昇華インク等の開発
- ✓ Tシャツカウンタービジネスにマッチしたプリンタの開発

販売戦略

- ✓ スポーツアパレル市場へのデジタル化推進
- ✓ プリントサービスパートナーの新規開拓
- ✓ 高速プリンタによる既存生産地への販売強化
- ✓ デジタル捺染のランニングコスト低減訴求

15-2. USA TAデジタル進行度

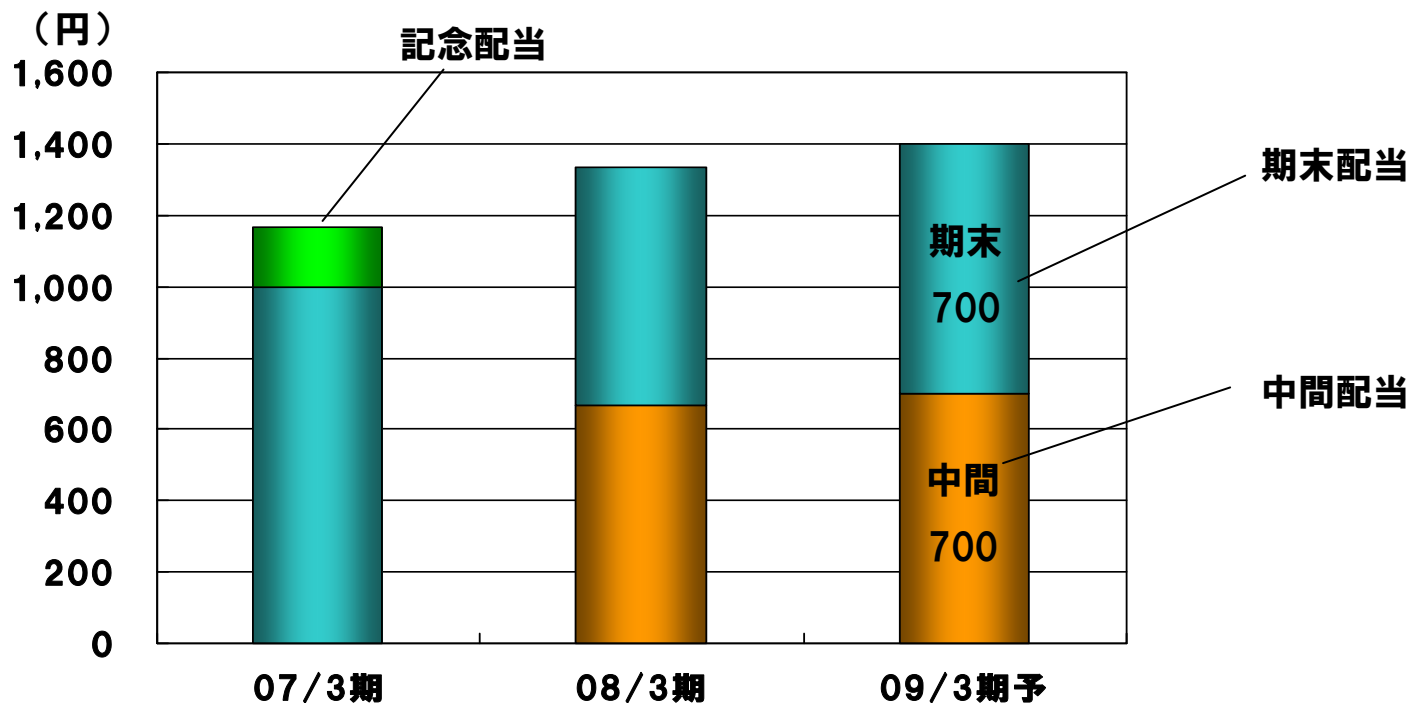


※デジタル化比率2.8%

ITストラテジー社2007年10月調査データによる

16. 配当方針

株主への還元を第一として、配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。



(注)08年4月1日付で、1:3の株式分割を実施しております。上記グラフでは、過去との比較を容易にするため、07/3期及び08/3期の配当金額を便宜上3分の1にして表記しております。

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

IR・広報部

TEL 0268 (64) 2281

E-mail mimaki-ir@mimaki.jp

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング(以下、当社)を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。